

第2回 奈良市社会的養護自立支援事業生活相談業務委託に係る プロポーザル審査委員会の意見の概要			
開催日時	令和4年1月5日（水）午前9時00分から午前11時00分まで		
開催場所	奈良市役所 中央棟3階 301会議室		
出席者	出席委員3名・事務局4名	担当課	子ども未来部児童相談所設置推進課
開催形態	非公開	非公開の理由	奈良市情報公開条例第7条第5号、第29条
		非公開の具体的な理由等 プロポーザルの受託候補者を選定するため、公にすることにより、率直な意見の交換又は意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるため。	
議題	(1) プレゼンテーション審査 (2) 受託候補者の選定 (3) その他		
決定又は 取り纏め 事項	<ul style="list-style-type: none"> 奈良市社会的養護自立支援事業生活相談業務委託に係る公募型プロポーザル募集要項に基づき参加申請のあった、1団体についてプレゼンテーション審査を行った。 奈良市社会的養護自立支援事業生活相談業務委託に係るプロポーザル審査基準及び審査方法（以下「審査基準及び審査方法」という。）に則って、採点・集計を行い、受託候補者を選定した。 		
議事の概要			
<ul style="list-style-type: none"> 応募団体によるプレゼンテーションの後、質疑応答を行った。委員からは、これまでの他自治体における事業の実績、奈良市における関係機関連携、職員体制、当事者意見の反映方法等について質問があった。 審査基準及び審査方法に基づき、採点・集計を行った結果、合計得点の6割を上回っていたため、特定非営利活動法人おかえりを受託候補者として選定した。 応募団体による提案内容について、優れている点として次のような意見があった。 <ol style="list-style-type: none"> 奈良県における同様の事業の実績があることは強みである。 社会常識等を学ぶためのテキストなど、支援ツールが非常にわかりやすい。 団体が実施している支援物品の送付は今後生きてくる取り組みだと考える。奈良市における同様の事業と連携して実施することを期待する。 今後の事業展開について、委員からの以下のような付帯意見があった。 <ol style="list-style-type: none"> 児童養護施設をはじめとする奈良県内の関係機関との連携など、県単位の視点も必要だが、奈良市を拠点にした奈良市独自の事業展開という視点が必要である。奈良市内の子育て支援機関・その他関係課と連携して支援することが必要。その上で、奈良市内の企業など、民間団体とのネットワークづくりも期待する。また、支援の対象者について、奈良市と受託者の情報共有が重要。ケース会議などを開催し、個別の状況を共有することが有効である。 奈良県で同様の事業を受託している団体が奈良市においても受託する場合は、受託者が委託 			

料を明確に分けて実施できるよう工夫が必要。

(3)施設等を退所した者への支援として、18歳以上の者だけでなく18歳未満で奈良市の家庭に戻った児童への支援も期待する。

(4)本事業の継続的な利用者増加のために、支援内容として、就労支援、金銭管理等、生きるために必要なことだけでなく、支援の対象者が、一息つき、安心できるような取り組みにも力を入れるべきである。また、積極的な広報、アウトリーチにより、自分から積極的に相談することが難しい者とのつながりを作ることも必要。

(5)本当に意味のある支援を展開できるよう、継続的な効果測定・当事者意見の反映が必要。